

壇岩」に到着する。峠の森から二千四百^弱約百分の道のりである。

【沢沿いの道から山頂へ】

花塚の里の上部に登山者カード記載台がある。放鹿神社の北側であるが、そこからは、一号休憩所を経由して、沢沿いコースがある。

一号休憩所までは、四百八十^弱ほどの道であるが、急な階段があり二十分ほど時間を必要とする。あずま屋から先は、山道を登ったり下ったりすること六百^弱、四十分で飯館村に行く道と、三本梨に下る道と峠の森に行く十字路に出る。ここには沢が流れていて、夏場にはとても爽やかである。山頂へはここから沢沿いに二十分登ることとなる。昔飯館村の比叡地区の人々は、川俣へ行くのに、この道を通ったといわれている。四百七十^弱で鞍部に到着するが、峠の森から登って来た道との十字路である。山頂は、ここから更に南進するが、約十分の登りで「護摩壇岩」に到着する。花塚の里から千八百^弱約九十分の道のりである。

花塚の里から一般ルートを登り、花塚台に到着した後

は、この道を逆に下り花塚の里に降りる道は、お勧めルートである。

【小綱木、後沢から山頂へ】

国道一一四号線、小綱木沢から東に約一^キ程進むとT字路になり左に道を取る。消防コミュニティセンターの前を通り、さらに五百^弱進むと消防屯所の所がY字路になっている。左に進むと花塚の里に続くが、右の道を進むと、五軒ほどの後沢集落が見えてくる。舗装道路が切れるまで自動車が進み、そこから歩き出すこととなる。このあたりには、自動車二台くらいは駐車可能である。十分ほど山道を進むと木製の年月が感じられる鳥居が建っている。ここから二十分ほど登山道を登ると、花塚の里から登って来た登山道に合流する。行合道である。ここから花塚台までは約十五分ほどで着くことができる。

● 生活の中の花塚山

『おまわり』と言われる行事があったことが川俣町史の資料に載っている。